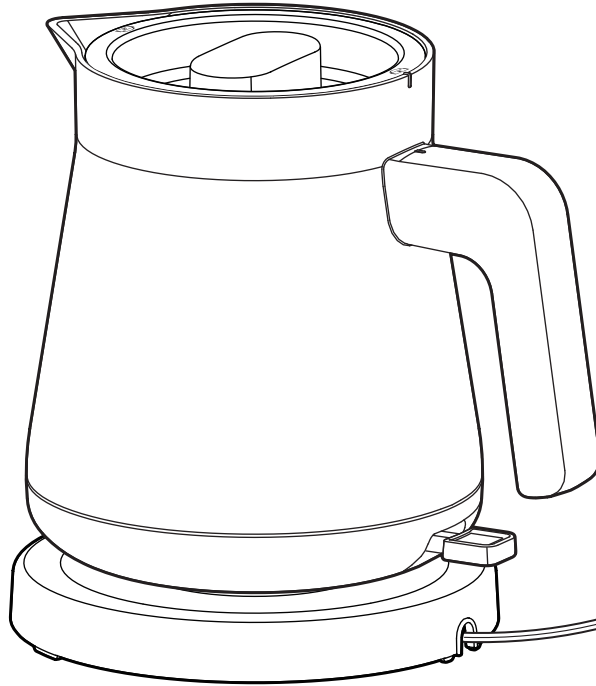


取扱説明書(WEB)

電気ケトル

型番:IBKT-800 [室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「[安全上の注意 P6](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

本製品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

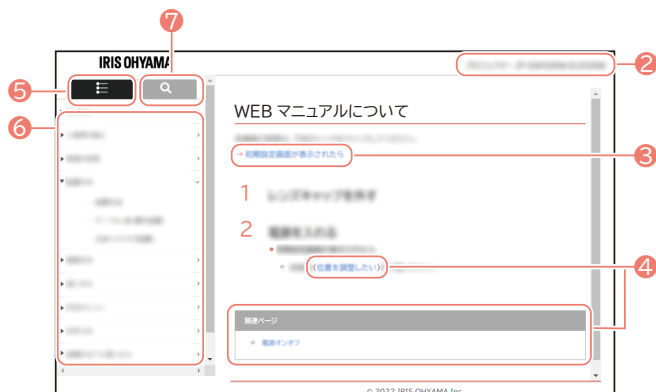
- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆ 検索について

■ スマートフォン



■ パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	6
安全上の注意.....	6
使用上の注意.....	10
ご使用の前に.....	11
各部の名称.....	12
使いかた.....	13
基本の使いかた.....	13
お手入れ.....	16
こんなときは.....	19
故障かな？と思ったら.....	19
その他の情報.....	22
廃棄について.....	22
仕様.....	23
保証とアフターサービス.....	24
保証規定.....	25
お問い合わせ.....	26

ご使用前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P6](#)

→ [注意 P8](#)

図記号の意味





 注意を促す記号です。	 禁止を示す記号です。	 必ず行うことを示す記号です。
---	---	---




誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

けが・やけど・感電に注意

乳幼児のいる家庭では特に注意してください。

	<ul style="list-style-type: none">子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、乳幼児に触れさせたりしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">ケトルを転倒させない 本製品は完全止水ではありません。本体が転倒すると注ぎ口などから少量の湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">ふたは確実に閉める お湯が噴きこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない お湯がこぼれて、やけど・けがの原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	<ul style="list-style-type: none">電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う 火災・発火の原因になります。
--	--



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

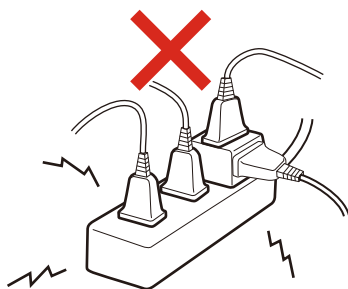


ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
過熱して、火災・感電の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷付けない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、[修理専用コール P26](#) (☎ [電話をかける](#)) へお問い合わせください。
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
- 火災の原因になります。






分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理については、お買い上げの販売店または[修理専用コール P26](#) (☎ [電話をかける](#)) へお問い合わせください。





- 水以外のものを入れない
お茶の葉・牛乳・酒・備長炭・ティーバッグ・レトルト食品などを入れると、沸きあがるときにふき出して、やけどの原因になります。
- 氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電の原因になります。
- 満水線「MAX」以上に水を入れない
お湯が噴きこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。
- 直火(ガス台など)や電磁調理器(IH クッキングヒーターなど)、電気ヒーターなどの上に載せない
火災の原因になります。また、電磁調理器の上で使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本体が転倒しそうな不安定な場所に置かない
傾けたり倒したりすると、お湯が流れ出るおそれがあり、火災・やけど・けがの原因になります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・注ぎ口に手を触れたり、顔を近づけたりしない やけどのおそれがあります。特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意してください。 ・注ぎ口をふきんなどでふさがない 噴きこぼれて、感電・やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常・故障例〕 <ul style="list-style-type: none"> - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 触れるとピリピリ電気を感じる ▶ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P26( 電話をかける)へお問い合わせください。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない ・本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・専用の電源プレート以外は使わない ・電源プレートは他の機器に使用しない 火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・注ぎ口からは常に少量のお湯が出るため、取り扱いに注意する やけどの原因になります。 本製品には給湯ロックの機能はついていません。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない 火災・やけど・感電・けがの原因になります。 ・湯沸かし中はお湯を注がない ・湯沸かし中はふたを開けない ・ふたを開けるときは、蒸気や、ふたの内側、本体に触れない お湯が飛び散り、やけどの原因になります。

	<ul style="list-style-type: none"> • 壁や家具の近くで使わない 蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。 • 熱に弱いテーブルクロスや敷物などの上で使わない 設置場所が焦げたり、火災の原因になります。 • 業務など家庭用以外で使わない 本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。 • 本体を逆さにして置かない 故障の原因になります。
 <p>接触禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない 高温部に触れてやけどするおそれがあります。お手入れは十分に冷めてから行ってください。
	<ul style="list-style-type: none"> • お手入れは本体が冷めてから行う 高温部に触れると、やけどの原因になります。

使用上の注意

■水を入れるとき

- ・ 電源プレートに載せたままで水を入れないでください。
- ・ 水以外のものは入れないでください。
- ・ 水量目盛の一番下(0.5L)の線より少ない水量でもお湯を沸かすことができますが、140mL 以上の水を入れて沸かすことをお勧めします。
- ・ 満水線「MAX」以上に水を入れないでください。
注ぎ口からお湯がこぼれるおそれがあります。

■お湯を沸かすとき

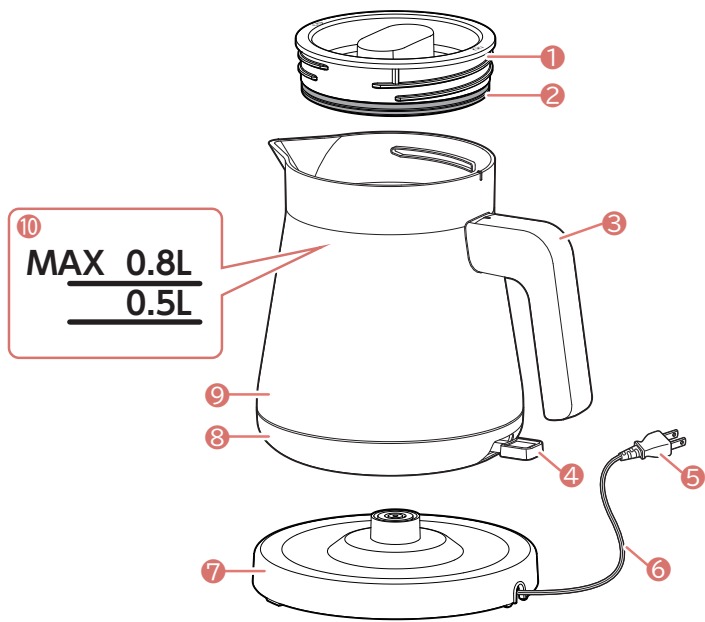
- ・ ふたがきちんと閉まっていることを確認してください。
ふたがきちんと閉まっていないと、転倒時にお湯が漏れて、やけどのおそれがあります。
また、お湯が沸いても沸騰を検知できず、電源が切れないことがあります。
- ・ 誤って転倒させた場合、底カバーにお湯が溜まっている場合があります。ご注意ください。
- ・ 電源プレートの中央に正しくセットしないと、電源が入らないだけでなく、転倒するなどして周囲の水ぬれの原因になります。
- ・ 沸かしの最中や湯沸かし直後は、ふたを取り外したり、お湯や水を注ぎ足したり、本体に触れたりしないでください。
やけどするおそれがあります。

ご使用前に

■使い始めに確認いただきたいこと

- ・ 本製品は出荷前に湯沸かし検査などを行っております。
乾燥には配慮しておりますが、箱から製品を取り出したとき、本体内側や底面に水が付着していることがあります。
初めて使用するときは、一度お湯を沸かし、お湯を捨ててください。
- ・ 使い始めは樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

各部の名称



- ① ふた
- ② ふたパッキン
- ③ ハンドル
- ④ 電源レバー
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ 電源コード
- ⑦ 電源プレート
- ⑧ 底カバー
- ⑨ 本体
- ⑩ 水位目盛: 本体内側に目盛があります。満水線「MAX」以上に水を入れないでください。

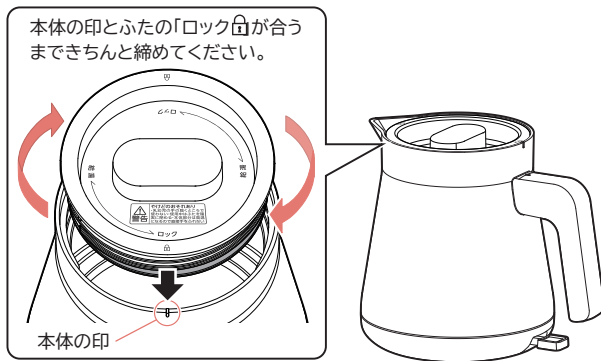
使いかた

基本の使いかた

1 ふたを開けて水を入れる

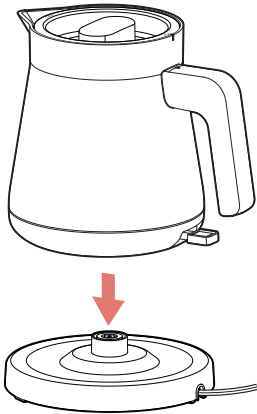


2 ふたをしめる



- ・ 注ぎ口からは常に少量のお湯が出るため、取り扱いに注意するやけどの原因になります。本製品には給湯ロックの機能はついていません。

電源プレートにセットする

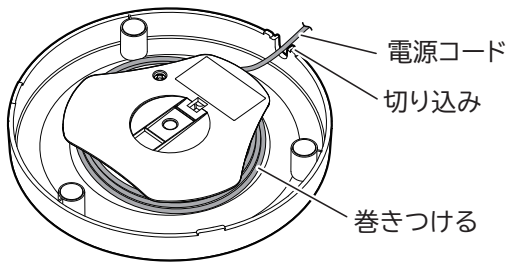


■電源コードは電源プレートの切り込みを通して使用してください。

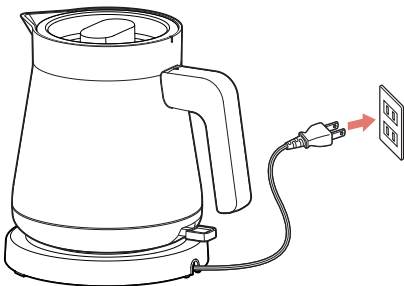


■電源コードを電源プレート底部に巻きつけて、長さを調節することができます。

図を参考に電源コードを切り込みから外に出してください。

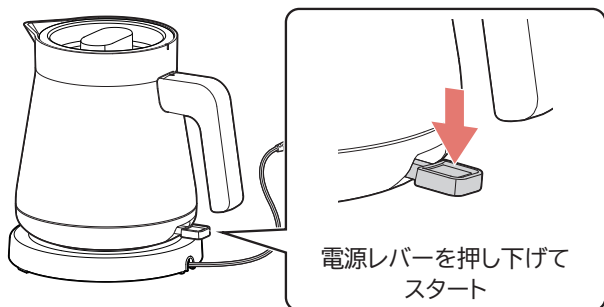


電源プラグをコンセントに差し込む



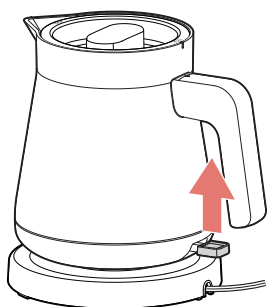
電源レバーを押し下げる→湯沸かし開始

5



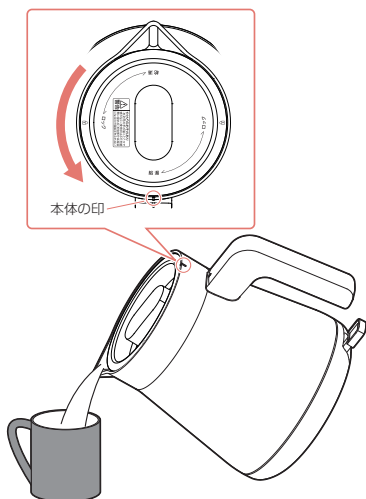
電源レバーが上がって、湯沸かし完了

お湯が沸くと電源レバーが上がります。



本体を電源プレートから外し、沸とうがおさまってからお湯を注いでください。

6



本体の印とふたの「給湯」を合わせて注いでください。

※回し過ぎるとふたが外れるので、ご注意ください。



注意

- ・ 湯沸かし直後は、本体が熱くなっているので注意してください。

- ・ 保温機能はありません。
- ・ 水の注ぎ足しをくり返して長時間使用すると、水あかが付着したり、お湯が変質することがあります。1日1回はお湯を捨ててください。

お手入れ



- ・必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてからお手入れをしてください。
- ・本体は丸洗いしないでください。

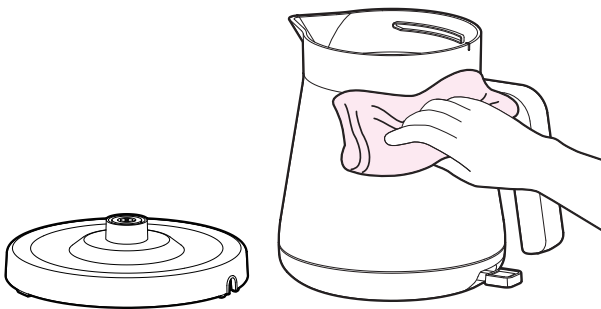
- ・酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤、研磨剤、金属へら、刃物、金属たわし、ナイロンたわし、スポンジのナイロン面などは使用しないでください。
- ・食器洗い乾燥機に入れないでください。

－ 本体外側・電源プレート

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。

本体接続部・電源プレート接続部・電源コードは、乾いたふきんで汚れをふき取ってください。

※汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませたやわらかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きをしてください。

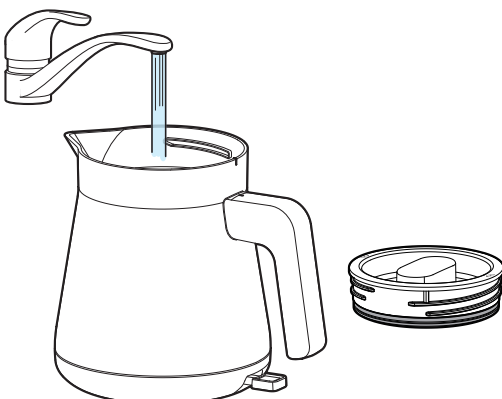


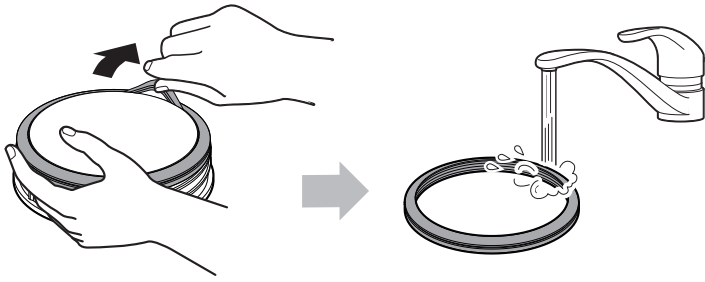
－ 本体内側・ふた・ふたパッキン

水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

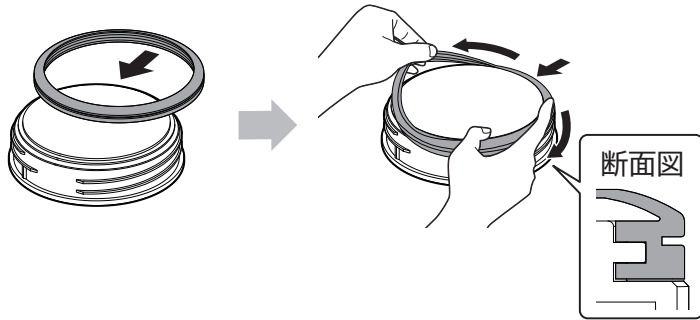
ふたパッキンは外して洗ってください。

※使用にともなって、水に含まれるミネラル分が本体内側に付着して固まります。ミネラル分が付着してきたら、クエン酸洗浄を行ってください。

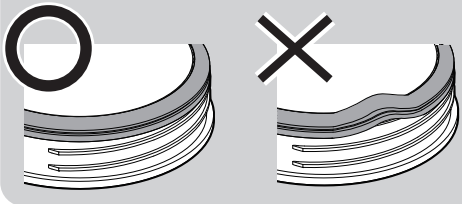




ふたパッキン取り付けかた



確実にはまっていることを確認する



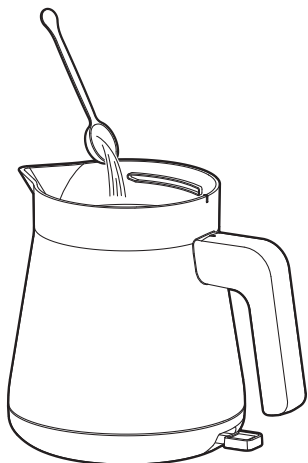
— クエン酸洗浄

使用にともない、水の中に含まれるミネラル分が濃縮されて本体内側に付着します。これが固まると、湯沸かしの効率が落ちるなどの原因になります。

本体内側にミネラル分が付着してきたら、クエン酸洗浄を行ってください。

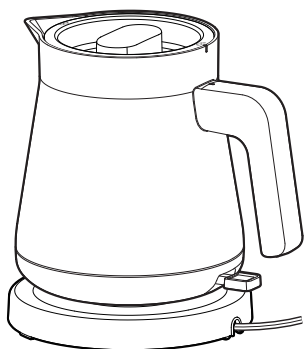
水を「MAX」まで入れ、クエン酸(市販品)約 20g を入れて混ぜる

1



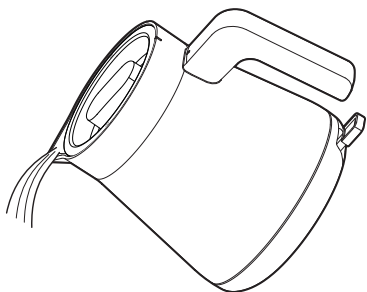
ふたを閉めて電源プラグを接続し、お湯を沸かした後、そのまま約 1 時間放置する

2



お湯を捨て、水で十分にすすぐ

3



4

水を「MAX」まで入れてお湯を沸かし、沸とうしたらお湯を捨てる

こんなときは 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

－ お湯が沸かない

→電源プラグが確実に差し込まれていない

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→本体が電源プレートに正しくセットされていない

本体を電源プレートの中央に正しくセットしてください。

→電源レバーが押し下げられていない

電源レバーを押し下げ、電源を入れてください。

→電源プレートまたは本体底面の接続部にゴミなどが付着している

接続部のゴミを取り除いてください。

→空だきした

空だき防止機能が働いています。本体を電源プレートから外し、十分に冷めてから水を入れ、電源プレートにセットして電源を入れてください。

－ 湯沸かし中に注ぎ口からお湯があふれる

→目盛「MAX」以上に水を入れた

水を「MAX」以下に減らしてください。

－ 低い温度で沸とうしてしまう

→標高の高いところで使用している

標高が高いところでは水の沸点は低くなります。沸とうしても 100℃になりません。

－ 使用後しばらくすると、音が出ることがある

→熱くなった部品が冷めるときに、音が出ることがある

異常ではありません。

－ お湯の中に白い浮遊物がある

→水のミネラル分が固まって付着した

本体内部をクエン酸洗浄してください。(→[クエン酸洗浄 P18](#))

－本体内側に白いザラザラしたものが付く

→水あかが付着した

本体内部をクエン酸洗浄してください。(→[クエン酸洗浄 P18](#))

－本体内部に赤い斑点が付く

→水の鉄分が付着した

本体内部をクエン酸洗浄してください。(→[クエン酸洗浄 P18](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P26](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ P26](#)

長年ご使用の電気ケトルの点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがする
- ・ その他異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店または[アイリスコール P26](#) (☎ [電話をかける](#)) に点検をご依頼ください。

その他の情報

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	1250W
最大容量	約 0.8L
外形寸法(電源プレート含む)	幅 166×奥行 213×高さ 200mm
外形寸法(電源プレート含まず)	幅 156×奥行 210×高さ 180mm
質量(電源プレート含む)	約 0.9kg
質量(電源プレート含まず)	約 0.7kg
電源コード長さ	約 1.3m
温度ヒューズ	192℃

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※特定地域(高地・厳寒地など)では所定の性能が確保できない場合があります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

－保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

保証書は、「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

－保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。

詳しくは保証規定を参照してください。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P26](#) (☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P26](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P26](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>